

## 「行政情報標準化・AI 活用研究会」の設置について（案）

### 1. これまでの取組み

- ・人口減少、高齢化などにより、地方財政がひっ迫し、行政職員の人数も増やせない中、住民ニーズの多様化や、新たな制度の創設・既存制度の複雑化など、行政職員の業務負荷は増大する方向にあります。一方、国を挙げての働き方改革の取組みや、IT 等の新しい技術の活用による業務効率化、住民サービスの向上などの取組みが始まっています。
- ・三菱総合研究所では、AI（人工知能）の活用が、住民サービスの向上や業務効率化につながると考え、2016年9月に、神奈川県川崎市、静岡県掛川市の協力を得て、AIによる住民対話型問合せ対応サービスの実証を行いました。本実証では、子育て分野の制度を対象に、対話（チャット）形式で住民からの問い合わせにAIが回答するサービスを提供し、住民や行政職員に活用していただきました。実証に参加した利用者からは、24時間365日気軽に利用できることなどが評価され、9割の方がサービスの継続を希望されました。一方、対象分野の拡大など、要望もいただきました。
- ・また、実証終了後、約20の自治体にヒアリングを行い、行政におけるAI活用のニーズや課題などを把握しました。ほとんどの自治体が、AI活用に高い関心をお持ちである一方、具体的にどのように進めていかわからないなどの課題も明らかになりました。

### 2. 「行政情報標準化・AI 活用研究会」設立の狙い

- ・このような取組みを踏まえ、三菱総合研究所では、今後の自治体におけるAI活用について、自治体の方々と一緒に検討していく場が必要と考え、「行政情報標準化・AI活用研究会」を設置することといたしました。
- ・本研究会では、AIに関する最新動向や民間企業における活用事例などの情報を共有するとともに、自治体においてAIを活用する際の対象分野、対象業務、行政サービスや、具体的な活用方法、導入方法などについて、自治体の方々の意見を伺い、今後のサービス検討の参考とさせていただくことを目的としています。
- ・また、三菱総合研究所では、昨年度に引き続き、今年度もサービス化に向けたニーズや課題などを明らかにするための実証を予定しており、この実証への参加・協力や、意見を伺う場としても想定しています。
- ・なお、三菱総合研究所では、自治体におけるAI活用は、個々の自治体が開発するのではなく、多数の自治体を対象とした利用型のクラウドサービスとして提供することが望ましいと考えており、そのためには

行政情報の標準化・共通化をいかに進めるかも大きな課題と考えています。そこで、研究会の名称を「行政情報標準化・AI 活用研究会」といたしました。

### 3. 具体的な活動

- ・参加者は自治体のみとします。ただし、必要に応じて企業や有識者などをゲストに招く場合もあります。
- ・期間は 2017 年 7 月 1 日から 2018 年 6 月 30 日までの 1 年間とします。必要に応じて延長する場合があります。
- ・メーリングリスト等によるオンラインでの情報共有・意見交換と、2か月に1度程度のオフラインミーティングを中心に進めます。実証に関しては、別途、進め方を検討・ご案内します。
- ・必要に応じて、参加自治体へのアンケート調査や、ヒアリング調査などを行う場合があります。
- ・研究会への参加は無料とします。ただし、オフラインミーティング（東京での開催を想定）への参加費用（旅費、宿泊費など）は、各参加自治体の負担とします。
- ・研究会は、プラチナ社会研究会の分科会のひとつとして設置し、事務局は三菱総合研究所が担当します。
- ・研究会には、個別の自治体の参加の他、AI 活用に関心をお持ちの団体（日本公共サービス研究会、ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州、しずおかオープンデータ推進協議会など）にもご参加いただき、連携・協力して進めます。
- ・詳細は今後、検討を進め、研究会規約として定めることとします。

### 4. 研究会への参加申込方法

- ・研究会の概要及び参加申込方法は下記 URL をご参照ください。

プラチナ社会研究会 行政情報標準化・AI 活用研究会

<https://mri.smartseminar.jp/public/seminar/view/569>

### 5. お問い合わせ先

- ・本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

株式会社三菱総合研究所

社会 ICT 事業本部

担当：村上、青木、小泉、富永

03-6705-6016

[aifaq-shanai-ml@mri.co.jp](mailto:aifaq-shanai-ml@mri.co.jp)